

「ふれあいの里山」復活大作戦



日時	2014年 7月 5日(土) 9時 00分～15時 00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	市民自然図鑑案内人(明石市内の学校の先生)/2名、エコウイング会員/6名(午後7名)、 団体会員(明石高専)/6名(午後5名)、事務局/1名 計 16名

● 午前

今日も朝9時に公園の会議室に集合しました。先月に引き続き、午前中は明石市内の小・中学校の先生に案内をしていただき、全員で「明石市民自然図鑑／昆虫篇」の3回目の事前観察会をしました。

これまでの2回と同じコースを観察しましたが、先月と同様に咲いている花が少ないためか、昆虫の姿はあまり多くありませんでした。案内人の先生が、「たたき網」を使って公園内の樹木の枝や葉にいる昆虫を観察する方法を紹介されました。この方法で、特にゾウムシのなかまを色々観察できました。

観察会の最後には、今朝脱皮したばかりのニイニゼミを見つけました。金ヶ崎公園も夏本番の昆虫たちが姿を見せ始めました

● 午後

午後は、参加メンバー全員で公園入口の竹林でモウソウ竹の間伐作業をしました。切り倒した竹は、近くJR魚住駅前の「花と緑の回廊」づくりの一環として設置予定の「竹灯り」の材料にするため、90cmほどの長さに玉切りしました。全部で70本の竹灯りの材料を集めたあと、駐車場へ運び、3本ずつ束ねて車に積み込みました。

梅雨空で日差しはありませんでしたが、湿度が高く蒸し暑い一日でした。事務局から差し入れの「明石のお水」を飲んで、熱中症に気を付けながら、事故などもなく作業を終えました。

朝のミーティング



観察会の様子(その1)



観察会の様子(その2)



観察会の様子(その3)たたき網を使って観察中です。



午後の作業風景(その1)



午後の作業風景(その2)



午後の作業風景(その3)



午後の作業風景(その4)



切り出した竹灯り用の竹材を前に全員で記念撮影



- 次回 : 2014年 8月 9日(土) 9:00から
午前中のみ市民自然図鑑の昆虫観察予備調査を実施の予定です。
猛暑の時期なので、午後の里山整備活動はお休みにします。
8月も、また第2土曜日の活動になりますが、たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

「明石市民図鑑／昆虫篇」の3回目の予備観察会や活動前後の観察で、今回確認した昆虫の一部を紹介します。今月も、咲いている花が少ないこともあって、あまり多くの昆虫を観察することができませんでしたが、それでもゾウムシやコガネムシ、クワガタムシなどの甲虫類を色々確認することができました。特にゾウムシは多数の種類が確認されました。

マメコガネのペア



コカブトムシ(オス)

セマダラコガネ



コカブトムシ(メス)

カナブン



ヨツボシケシキスイ



ゾウムシのなかま(その1)



ゾウムシのなかま(その2)



ゾウムシのなかま(その3)



ゾウムシのなかま(その4)



ゾウムシのなかま((その5)



ゾウムシのなかま(その6)



ベッコウクモバチ



巣の材料の土を運ぶエントツドロバチ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

トガリヒメバチのなかま



イトトンボのなかま



チョウトンボ



アブのなかま



クヌギカメムシ



ガガンボのなかま



ツマグロヒョウモン(メス)



カシワマイマイ



ニイニイゼミ



ミノムシ(ミノガの幼虫)



トビモンオオエダシャク幼虫



セスジスズメ幼虫



クモのなかま



オナガグモ

周りに子供も



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

野鳥では、ウグイスのさえずりがまだ聞こえました。写真に撮れたのは、ハクセキレイとムクドリです。ハクセキレイは、餌にするのかシオカラトンボを捕えていました。近くには、ハクセキレイの幼鳥の姿も見られました。

シオカラトンボを捕えるハクセキレイ



ハクセキレイの幼鳥



ムクドリ



その他の生き物では、カタツムリや陸上に棲む巻貝の仲間が観察できました。

カタツムリ



陸に住む巻貝のなかま



植物では、あまり多くの花は咲いていませんでしたが、公園入口の水路周辺でイヌホオズキやコヒルガオ、スイレンなどの花が確認できました。キノコのなかまもいくつか観察できました。

イヌホオズキの花



コヒルガオの花



スイレンの花



キノコのなかま(その1)ツチグリ



キノコのなかま(その2)マンネンタケ



キノコのなかま(その3)

